

資料3-2

学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議
(第2回)

2023年1月16日(月) 15:00-17:00

令和5年度政府予算案について

公立学校施設の整備

新しい時代の学びを支える安全・安心な教育環境の実現～Schools for the Future～

令和5年度予算額（案） 687億円
（前年度予算額） 687億円

令和4年度第2次補正予算額 1,203億円



文部科学省

背景

- ◆ 学校施設の老朽化がピークを迎える中、子供たちの多様なニーズに応じた**教育環境の向上と老朽化対策の一体的整備**が必要。
- ◆ 中長期的な将来推計を踏まえ、**首長部局との横断的な協働**を図りながら、**トータルコストの縮減に向けて計画的・効率的な施設整備**を推進。
- ◆ 2050年のカーボンニュートラル達成に向けて、**脱炭素社会の実現に貢献**する持続可能な教育環境の整備を推進。

1 新時代の学びに対応した教育環境向上と老朽化対策の一体的整備の推進

- 学校施設の長寿命化を図る老朽化対策
- バリアフリー化、特別支援学校の整備
- 他施設との複合化・共用化・集約化

2 防災・減災、国土強靱化の推進

- 非構造部材の耐震対策等
- 避難所としての防災機能強化（トイレ改修等）

3 脱炭素化の推進

- 学校施設のZEB化（高断熱化、LED照明、高効率空調、太陽光発電等）
- 木材利用の促進（木造、内装木質化）

具体的な支援策

■ 制度改正：

- 特別支援学校の教室不足解消に向けた改築・改修の補助率引上げ（1/3→1/2）
- 断熱性が確保されている体育館への空調設置（新設）について補助率引上げ（1/3→1/2）

■ 単価改定：

- 物価変動の反映や標準仕様の見直し等による増 **対前年度比 +10.3%**
小中学校校舎（鉄筋コンクリート造）の場合
R4:243,300円/㎡ ⇒ R5:268,300円/㎡

他施設との複合化により学習環境を多機能化しつつ、効率的に整備



新しい時代の学校施設

避難所としての**防災機能強化**



バリアフリートイレの整備

激甚化・頻発化する災害への対応



台風で屋根が消失した体育館



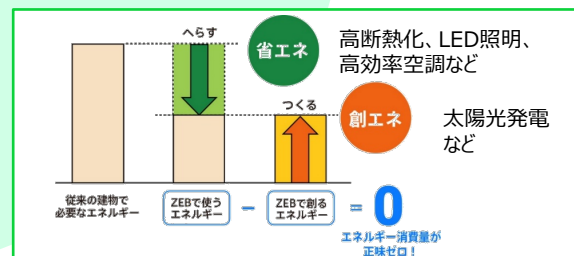
老朽化対策と一体で多様な学習活動に対応できる多目的な空間を整備



国土強靱化

脱炭素化

柱や内装に木材を活用し、温かみのある学習環境や脱炭素化を実現



ZEB (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)

年間で消費する建築物のエネルギー量を大幅に削減するとともに創エネでエネルギー収支「ゼロ」を目指した建築物

出典：環境省ホームページ

概要

- ◆「第5次国立大学法人等施設整備5か年計画（令和3年3月文部科学大臣決定）」に基づき、国立大学等施設の戦略的リノベーションによる老朽改善を行い、教育研究環境の機能強化を図るとともに、施設の長寿命化、2050年カーボンニュートラルに向けた脱炭素化を促進する。
- ◆ソフト・ハード一体となった教育研究環境の整備等のイノベーション・コモンズ（共創拠点）化を推進することにより、老朽改善、教育研究の高度化・多様化・国際化、地方創生や地域防災、イノベーション創出に貢献する。

事業内容

① 安全・安心な教育研究環境の整備

耐震対策・防災機能強化、老朽改善、ライフラインの計画的な更新



落下の危険がある外壁



老朽改善された施設

② イノベーション拠点の強化等

先端研究や人材育成等に貢献する機能強化、大学附属病院の再生



対面とオンラインを併用した教育環境



フレキシブルなオープンラボ

③ カーボンニュートラルに向けた取組

ZEB化を推進するための先導モデル事業の実施、省エネの取組の加速化



創エネルギー設備の整備



高効率空調の整備

老朽改善にあわせた機能強化等を行い、キャンパス全体が有機的に連携し、あらゆる分野・場面・プレーヤーが共創できる拠点となる「イノベーション・コモンズ」の実現を目指す

他の大学・研究機関等との共創



研究者間の連携を促進する最先端研究の拠点

産業界との共創



体育館をリノベーションしたコワーキングスペース、スタートアップ創出拠点



学生と起業家・地元企業との交流を促進する共創の場

広域的・発展的な
大学間の連携

産学連携・実証実験



地域との連携・支援

地方公共団体・地域社会との共創



地域の教育研究拠点として人材育成、地域課題の解決



災害発生時の医療提供の継続・避難所としての活用

※ZEB：Net Zero Energy Building の略称

私立大学等の改革の推進等

～私立学校の特色強化・改革の加速化に対する支援～

令和5年度予算額（案） 4,095億円
（前年度予算額 4,094億円）



文部科学省

令和4年度第2次補正予算額 113億円

私立大学等経常費補助

2,976億円（+1億円）

[令和4年度第2次補正予算額 4億円]

(1) 一般補助 2,771億円（+5億円）

大学等の運営に不可欠な教育研究に係る経常的経費を支援

- 教育の質に係る客観的指標等を通じたメリハリある資金配分により、教育の質の向上を促進

(2) 特別補助 205億円（▲4億円）

「Society5.0」の実現や地方創生の推進等、我が国が取り組む課題を踏まえ、自らの特色を活かして改革に取り組む大学等を重点的に支援

○私立大学等改革総合支援事業 112億円

特色ある教育研究の推進や地域社会への貢献、社会実装の推進など、自らの特色・強みを活かした改革に全学的・組織的に取り組む大学等を支援

○大学教育のDXによる質的転換支援 2億円（新規）

デジタル技術の活用により、学修者本位の学びへの転換や、効果的で質の高い学修等を実現する取組を支援

○私立大学等における数理・データサイエンス・AI教育の充実 7億円

文理を問わず全ての学生が一定の数理・データサイエンス・AIを習得するための取組の展開を支援

○研究施設等運営支援及び大学院等の機能高度化への支援 117億円

○教育研究活動の拡充・展開に協働して取り組む大学等の支援 1億円

私立高等学校等経常費助成費等補助 1,029億円（+9億円）

[令和4年度第2次補正予算額 2億円]

※子ども・子育て支援新制度移行分を含む

(1) 一般補助 860億円（+6億円）

都道府県による私立高等学校等の経常的経費への助成を支援

- 幼児児童生徒1人当たり単価の増額
- 幼稚園教諭の人材確保支援

(2) 特別補助 137億円（+1億円）

建学の精神等を踏まえた各私立高等学校等の特色ある取組を推進するため、都道府県による助成を支援

- 個別最適な学びを目指した学習環境の整備や、外部人材を配置する学校への支援
- 特別な支援が必要な幼児の受入れに係る支援や、多様な預かり保育を実施する幼稚園に対する支援
- 家計急変世帯への支援等、経済的理由で児童生徒が修学を断念することのないよう、授業料減免により支援

(3) 特定教育方法支援事業 32億円（+1億円）

- 特別支援学校等の教育の推進に必要な経費を支援

私立学校施設・設備の整備の推進 90億円（▲8億円）

[令和4年度第2次補正予算額 107億円]

(1) 耐震化等の促進 40億円（▲4億円） [60億円]

- 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の3年目として、校舎等の耐震改築・補強事業や非構造部材の落下防止対策等の防災機能強化を重点的に支援

(2) 教育・研究装置等の整備 50億円（▲4億円） [47億円]

○私立大学等の施設環境改善整備費 7億円 [34億円]

安全・安心な生活空間の確保に必要な基盤的設備等の整備を支援

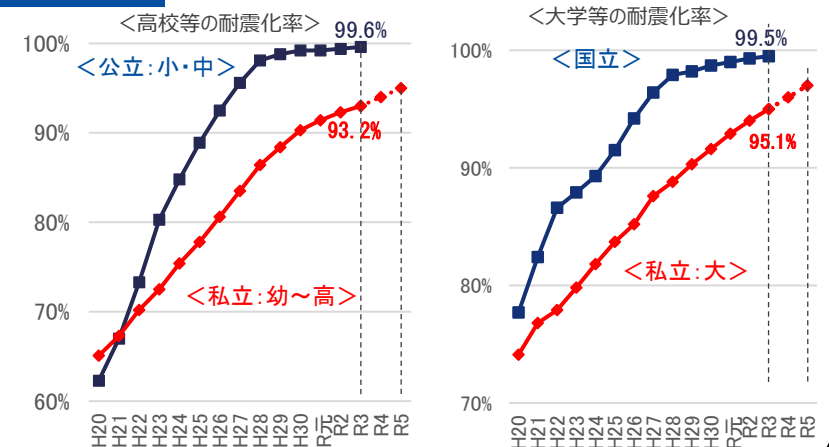
○私立大学等の装置・設備費 30億円 [10億円]

私立大学等の個性・特色を生かした教育研究の基盤や、社会的ニーズ及び分野横断領域に対応した人材育成に必要な設備・装置の整備を支援

○私立高等学校等ICT教育設備整備費 14億円 [3億円]

個別最適な学びを目指し、私立高等学校等におけるICT環境整備を支援

注：他に、日本私立学校振興・共済事業団による融資事業（貸付見込額） 575億円（うち財政融資資金 272億円）



出典：私立学校耐震改修状況調査（R4年以降は各法人の耐震化計画及び整備実績を踏まえた推計値）

[]は令和4年度第2次補正予算額

※単位未満四捨五入のため、計が一致しない場合がある。